



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

東

上場会社名 株式会社ブルボン

上場取引所

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	25,185	3.5	728	△11.4	817	3.2	547	21.4
27年3月期第1四半期	24,330	△4.0	822	5.6	792	△20.5	450	△34.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 945百万円 (38.4%) 27年3月期第1四半期 683百万円 (12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.55	ー
27年3月期第1四半期	18.58	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	62,536	37,032	59.2	1,526.31
27年3月期	68,001	36,293	53.4	1,495.82

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 37,032百万円 27年3月期 36,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	7.50	ー	8.50	16.00
28年3月期	ー				
28年3月期(予想)		8.00	ー	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	2.2	350	△28.6	400	△35.2	200	△35.5	8.24
通期	107,500	2.4	3,200	△4.8	3,300	△14.6	2,100	6.8	86.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	27,700,000株	27年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,437,415株	27年3月期	3,436,749株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	24,262,629株	27年3月期1Q	24,265,433株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

ります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の改善にやや力強さが欠けるものの、政府による各種施策を背景として、大企業を中心に収益環境の改善や設備投資の増加、賃金・雇用情勢の好転など、緩やかな回復基調を辿りました。

菓子・飲料・食品業界は、円安の進行に伴う輸入原材料価格の高騰や物価上昇に対する懸念から、消費マインドの回復には力強さが欠け、生活必需品に対する低価格志向や節約志向が続く状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは一貫して、食品製造企業として安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足の追求に向けた活動を推進してまいりました。女性の社会進出や単身・シニア世帯の増加などによる食のスタイルの変化やニーズの多様化が進む中、消費者が求める価値の実現に機敏かつ柔軟に対応し、きめ細かい店頭フォロー活動や地域に合わせた企画提案型の営業活動、品揃えの強化と魅力のある商品開発を通して、お客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、パーティタイプの半生商品が好調に推移したことや新カテゴリーのポップコーン商品の拡販・展開を図ったことなどにより、ビスケット品目、スナック品目、キャンデー品目などが伸張し、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、引き続き生産性の向上やコスト低減に努めたものの、円安基調による輸入原材料の高値推移や販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は前年同期を下回りました。一方で、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替の影響などにより前年同期を上回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は23,999百万円(対前年同期比103.4%)となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレート、チューインガムなどの品目を展開しています。初夏にかけての低温の影響を受け、カップデザート商品が伸び悩んだものの、1本で満足感が得られるパーティタイプ商品「濃厚チョコブラウニー」や、新価格帯商品のマイベネフィットシリーズが伸張しました。季節に合わせて、抹茶フェア、サマーフルーツフェア、夏塩フェアなどの商品展開と売場づくりの提案を行ったことに加え、映画やプロ野球球団とタイアップした企画商品、キャラクターをデザインした商品の発売など話題性のある企画を実施しました。また、独自の形状で少し硬めの弾む噛みごちが好評な「フェットチーネグミ」シリーズの“コーラ味”発売に合わせて、ダンス&ボーカルグループ“GENERATIONS from EXILE TRIBE”を起用したテレビコマーシャルを放映し、ハジけるオリジナルダンスや楽曲と“コーラ味”の爽快かつスパイシーな味わいとが相俟って注目をいただきました。さらに、手作り感のあるキャラメル掛け商品「アーモンドキャラメルポップコーン」や、着物姿のハローキティをデザインした、訪日外国人向けチョコレートなどの積極的な拡販を図ったことにより、全体では前年同期を上回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は1,186百万円(対前年同期比106.6%)となりました。

飲料・食品は、ミネラルウォーター商品群が競争激化の状況であったものの、ディズニーキャラクターをデザインした天然水のリニューアルを行ったほか、ココナッツミルクを使用した健康志向の飲料を発売し、ソフトドリンクが伸張しました。また、機能性食品は、たっぷりのココナッツ果肉チップとココナッツミルクパウダーを使用した栄養調整食品「スローパー濃厚ココナッツミルク」の拡販を図りました。その他、通信販売事業は、品揃えの充実と催事企画商品の展開を図り、顧客の拡大とリピーターの増加に取り組みました。自動販売機事業は、多様な商品を取り扱うプチモールの展開推進と、効率性の向上に取り組んだほか、台数の増加に伴って伸張しました。また、酒類販売事業は、クラフトビールへの関心が継続する中、取扱店舗の増加などにより既存品が伸張したことに加え、輸出や受託生産も好調に推移したことにより、全体では前年同期を上回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25,185百万円(対前年同期比103.5%)、営業利益は728百万円(対前年同期比88.6%)、経常利益は817百万円(対前年同期比103.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は547百万円(対前年同期比121.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は62,536百万円となり、対前連結会計年度末比5,464百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産などの取得対価の支払による現金及び預金の減少があったことと、季節変動による受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。

負債は25,504百万円となり、対前連結会計年度末比6,203百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による支払手形及び買掛金等の減少があったことと、法人税等の支払および賞与の支給などがあったことによるものです。

純資産は37,032百万円となり、対前連結会計年度末比738百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったことと、その他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する説明)

営業活動によるキャッシュ・フローは223百万円の支出(前年同期963百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益867百万円と、法人税等の支払1,187百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,995百万円の支出(前年同期852百万円の支出、対前年同期比234.0%)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,175百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは359百万円の支出(前年同期328百万円の支出、対前年同期比109.4%)となりました。これは主に、借入金及びリース債務の返済による支出157百万円と配当金の支払200百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前第1四半期連結会計期間末に比べ1,423百万円減少し、10,584百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ2,585百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月1日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,015	10,438
受取手形及び売掛金	12,549	9,068
有価証券	254	245
商品及び製品	3,353	3,936
仕掛品	515	471
原材料及び貯蔵品	2,998	3,190
その他	1,495	1,333
貸倒引当金	△39	△14
流動資産合計	34,143	28,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,642	10,709
機械装置及び運搬具(純額)	8,308	8,218
その他(純額)	7,330	7,179
有形固定資産合計	26,280	26,107
無形固定資産		
のれん	1,663	1,634
その他	454	441
無形固定資産合計	2,117	2,075
投資その他の資産		
その他	5,458	5,683
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,458	5,683
固定資産合計	33,857	33,866
資産合計	68,001	62,536

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,928	8,832
短期借入金	1,720	1,720
未払法人税等	1,241	75
賞与引当金	1,000	419
返品引当金	50	47
その他	10,705	7,434
流動負債合計	24,647	18,530
固定負債		
長期借入金	330	279
役員退職慰労引当金	210	215
退職給付に係る負債	5,518	5,513
資産除去債務	9	9
負ののれん	24	24
その他	967	931
固定負債合計	7,060	6,973
負債合計	31,707	25,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,628	7,628
利益剰余金	28,599	28,940
自己株式	△539	△540
株主資本合計	36,724	37,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	850	1,227
為替換算調整勘定	△908	△912
退職給付に係る調整累計額	△372	△347
その他の包括利益累計額合計	△431	△32
純資産合計	36,293	37,032
負債純資産合計	68,001	62,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	24,330	25,185
売上原価	14,247	14,820
売上総利益	10,083	10,365
販売費及び一般管理費	9,260	9,636
営業利益	822	728
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	35	32
負ののれん償却額	0	0
為替差益	—	34
その他	29	32
営業外収益合計	67	103
営業外費用		
支払利息	11	6
減価償却費	5	3
為替差損	77	—
その他	3	4
営業外費用合計	97	14
経常利益	792	817
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	65
特別利益合計	0	65
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	0	1
投資有価証券評価損	—	13
特別損失合計	1	15
税金等調整前四半期純利益	791	867
法人税、住民税及び事業税	75	36
法人税等調整額	265	283
法人税等合計	340	320
四半期純利益	450	547
親会社株主に帰属する四半期純利益	450	547

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	450	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	377
為替換算調整勘定	82	△3
退職給付に係る調整額	20	25
その他の包括利益合計	232	398
四半期包括利益	683	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	683	945
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	791	867
減価償却費	735	828
のれん償却額	28	28
受取利息及び受取配当金	△38	△35
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	11	6
為替差損益(△は益)	66	△28
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△65
固定資産処分損益(△は益)	0	1
減損損失	0	1
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13
売上債権の増減額(△は増加)	3,248	3,480
たな卸資産の増減額(△は増加)	△802	△730
仕入債務の増減額(△は減少)	△712	△1,095
賞与引当金の増減額(△は減少)	△601	△581
その他	△817	△1,755
小計	1,910	935
利息及び配当金の受取額	36	34
利息の支払額	△11	△6
法人税等の支払額	△971	△1,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	963	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△861	△2,175
有形固定資産の売却による収入	34	1
投資有価証券の取得による支出	△30	△53
投資有価証券の売却による収入	—	248
その他	4	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△852	△1,995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△75	△50
リース債務の返済による支出	△99	△107
配当金の支払額	△153	△200
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328	△359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△234	△2,585
現金及び現金同等物の期首残高	12,242	13,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,007	10,584

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。